

摂津ブランド（摂津優技）認定基準

（目的）

第1 この基準は、中小企業応援プロジェクト！摂津ブランド認定事業実施要領第3条に基づき、摂津ブランドの認定基準に関し、必要な事項を定める。

（基準）

第2 摂津ブランドの認定の可否は、その目的及び趣旨を理解する申請者が申請する技術等のうち、次に掲げる項目で評価する。

（1）技術力

- 1）他社や従来品業界水準と比較して、優れた技術を有している。
- 2）優れた技術力を有するための取組（積極的な設備導入、高度な技術を実現するための資格等の取得等）を行っている。
- 3）産官学連携、技術者の確保・育成、技術開発等、今後の技術力向上に向けた取り組みを行っている。
- 4）開発等、積極的に大学、企業等との連携を図っている。
- 5）その他、顕彰制度を受賞し、客観的に技術力を認められている。

（2）独自性・新規性

- 1）他社にはない独自の技術、特長がある。独自の製造工程を有している。
- 2）これまでにない、新たな技術を有している。
- 3）その他、顕彰制度を受賞し、客観的に技術力を認められている。

（3）地域貢献・社会貢献・摂津愛

- 1）取引を市内事業者と行っている等、摂津市内で中小企業活性に繋がっている。
- 2）摂津の地域性（土地柄）を活かした事業を行っている。
- 3）人材育成計画を策定している等、技術を維持、継承する組織体制が整備されている。
- 4）女性、障がい者、高齢者、外国籍等、多様な人材が能力を発揮できるようにする取組や環境が整っている
- 5）摂津市民を積極的に採用している。
- 6）市内小中学校からの工場見学や職業体験等を受け入れている。
- 7）省エネ・環境保全への取組に注力している。

（4）品質保証

- 1）各種、国等が定めている品質保証制度の認証を受けており、客観的に品質を保証されている。
- 2）1）に関わらず客観的に品質の保証が判断できる生産体制が整備されている。
- 3）各種、国等が定める顕彰制度を受賞しており、客観的に技術力の高さを認められている。

（５）市場性、将来性、財務状況等

- １）業界内で高いシェア率を誇っている。
- ２）市場評価が高く、今後も安定した財務状況を期待できる。
- ３）ブランド認定を通じて、摂津の地元企業・個人として更なる成長が期待できる。

（基準の確認）

第３ 第２に掲げた基準の確認については、要領第６条に規定する摂津ブランド認定申請書（以下「申請書」という。）、添付書類で行うこととする。ただし、認定に際して別途資料が必要であると判断した場合は、申請者より任意の資料の提出を受けることができる。

（評価方法）

第４ 第２の（１）～（５）に規定した項目について、別表のとおり掛け率を設定する。１項目当たり５段階で評価をして、高評価は５をつけ、低評価は１とする。（１）～（５）の各項目の評価に掛け率を掛け、各項目の点数を合計したものが評価点となる（満点は１００点）。

（認定方法）

第５ 委員会の出席委員により各申請内容について、第４の結果の確認を行う。各委員の評価点を確認し、最上位及び最下位の得点を除いた出席委員の平均点を算出する。満点１００点のうち概ね６割程度の得点で認定の目安となる。なお、認定技術の決定は、出席委員の得点結果（平均点）と特別に配慮すべき事項を加味し、総合的な審査によって一定の評価を得たものを摂津ブランドとして認定する。

別表（第４関係）

項目	掛け率	評価点
１.技術力	５	２５
２.独自性・新規性	５	２５
３.地域貢献・社会貢献	３	１５
４.品質評価	４	２０
５.市場性、将来性・財務状況等	３	１５
合計		１００